

## 令和2年度 事業計画

我が国においては、少子高齢化が急速に進み人口が減少している中で、企業活動や経済・社会の活性化を図る上において、働く意欲と能力があるすべての高齢者が、年齢にかかわりなく活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが重要となっています。

このような中、高齢者の生きがいづくりや社会参加、地域社会への貢献を目指すシルバー人材センターには大きな期待が寄せられており、特に、サービス業等の人手不足分野や介護、育児等の現役世代を支える分野における高齢者の就業の推進に対し、国は重点的に支援を行っております。

私たちは、国や地域社会から求められる要望に対し、的確に応えていく必要がありますが、そのためにも全国シルバー人材センター事業協会が推進している「第二次会員百万人達成計画」に呼応した会員増加の取組みを強力に推進していかなければなりません。

また、平成28年度から取り組んでいる「シルバー改革」を着実に実行し、組織と経営基盤を強固なものにしていかなければなりません。

さらに、平成30年度に策定した「中期事業計画」については、その実施状況や環境変化に応じた見直しを行いながら、「シルバー改革」の継続的な取組みと合わせ、着実に実行してまいります。

当センターは、これまでも就業やボランティア活動などを通じて、「生涯現役社会の構築」に一定の寄与をしてきたという自負はありますが、さらに会員、役職員が一丸となり、国や地域社会の期待に応えていく努力を続けてまいりましょう。

### 1 基本方針

- (1) 就業機会の拡大
- (2) 会員の拡大とスキルの向上
- (3) 安全・適正就業の推進
- (4) 事業運営の効率化及び財政基盤の安定化
- (5) 地域社会のニーズへの対応と取組み強化
- (6) 会員による自主的運営体制の確立
- (7) 長崎県シルバー人材センター連合会（県シ連）との連携
  - ・ 県シ連の計画と連動して策定した7ヶ年の「新中期事業計画」に基づく事業の推進

- ・ 派遣事業の推進、人材確保育成事業を活用した会員増加の取組み強化

## 2 事業実施計画

### (1) 就業機会の拡大

#### ○役員等による就業開拓

- ①理事及び職員による就業開拓を継続します。
- ②地域班・職群班の役員による就業開拓を進めます。

#### ○地域や企業のニーズの把握

- ①ニーズ把握のためのアンケートを継続して実施します。
- ②PRを兼ねた訪問により発注者・利用者等の意見の聴取等を行います。

#### ○全会員での就業開拓取組み

- ①全会員による就業開拓運動として「会員1人1仕事紹介運動」を展開します。
- ②ポイント制度の導入により、会員の就業開拓運動を推進します。

### (2) 会員の拡大とスキルの向上

#### ○新規会員の加入促進

- ①理事による定期的な本部及び各地区での入会説明会を継続します。  
入会説明会では最新の求人情報を提供し、入会促進を図ります。
- ②会員による口コミの加入促進について、引き継ぎ協力を求めるとともに、「会員1人1新会員紹介運動」を展開します。
- ③ポイント制度の導入により、会員の新会員紹介運動を推進します。
- ④ハローワークの協力を得て「出張相談会」を継続して実施し、入会促進につなげます。
- ⑤県シ連が行う「人材確保育成事業」による広報、セミナーの開催等を活用し、入会促進を図ります。

#### ○普及啓発活動の推進

- ①公益社団法人としての取組みをPRし、センター事業への理解と協力を得ることに努めます。
- ②各種広報物等を活用した情報発信に努めます。
- ③シルバー人材センター事業の普及啓発促進月間（10月）及びシルバーノの日（10月第3土曜日）を中心とした広報活動に取り組みます。

#### ○会員研修

- ①新入会員・既存会員ともに定期的な研修を実施し、シルバー制度の理解を深めるとともに、就業その他に必要なマナーなどスキルの向上を図ります。

②介護・育児分野の人手不足など、変化する就業環境に即した各種講習会を通して、就業に結びつく技能の習得などスキルの向上を図ります。

### (3) 安全・適正就業の推進

#### ○安全就業の推進

- ①安全衛生委員会等による就業現場の定期的及び臨時的な巡回指導と安全保護具着用励行の徹底に努めます。
- ②安全研修の組織化・定期化により、会員の安全意識の向上を図ります。
- ③特に、事故ゼロを目指した取組みを強化します。
- ④全会員に対し「安全だより」を配布するとともに、健康診断の受診を奨励します。

#### ○適正就業の推進と公平な就業機会の提供

- ①法令及び要綱等を遵守した就業体制の構築、改善に努めます。
- ②意識の高揚と適正受注の推進に努めます。
- ③適正かつ公平な就業機会の提供を推進します。

#### ○高齢者の交通事故防止

- ①高齢者安全運転講習会の実施及び他団体が主催する講習会への積極的な参加を促し、被害者又は加害者にならないための啓発・研修等を行います。

### (4) 事業運営の効率化及び財政基盤の安定化

#### ○経費節減の徹底と事務効率化の推進

- ①全ての経費について更なる見直しと節減に努めます。
- ②常に費用対効果を念頭に置き、事務の見直し・効率化に継続して取り組みます。

#### ○財政基盤の安定化

- ①自主的かつ自立的事業運営を図るために、公共契約の継続確保と民間契約の確保と拡大に努めます。
- ②職員研修やOJT等の実施により、経営の視点に立った職員の意識改革を行います。

#### ○経営感覚を持った事業の再構築

- ①平成28年度から着手したシルバー改革を継続して実施し、事業のスクラップアンドビルドなどを行い経営の改善に努めます。

### (5) 地域社会のニーズへの的確な対応及び取組み強化

#### ○ワンコインサービス事業の継続

- ①町内・各種団体への周知や会員の就業を通したPR等など、その普及啓発に努めます。
- ②事業現場でのシルバー会員ならではのサービスに努め、当事業の定着を目指します。
- 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の展開
  - ①地域の人手不足への対応や適正就業の観点から派遣事業の更なる推進を図ります。
  - ②介護・保育・育児分野等の研修を継続しながら就業マッチングに取り組みます。
- 次の2事業は継続して展開
  - 「地域就業機会創出・拡大事業」の補助採択を受け開始した2事業は、補助期間が終了しましたが、事業は継続して実施します。
  - ①子育て世代への応援事業である「シルバー寺子屋塾事業」
  - ②地域社会の維持発展につながる事業である「シルバー空き家管理等ワンパックサービス事業」

#### (6) 会員による自主的運営体制の確立

- 理事会・専門部会（総務、事業、配分金、広報、安全・衛生）及び各専門委員会活動の強化に努めます。
- 受注業務に円滑・敏速に対応するため、職群班の機能の充実に努めます。
- 職群班の総会、地域別ブロック研修会の自主的開催に努めます。
- ポイント制度の導入により、会員の会議や活動等への積極的な参加を促します。

#### (7) 長崎県シルバー人材センター連合会（県シ連）等との連携

- 上記各項目を推進するために、県シ連や県内各拠点シルバーとの情報交換を始めとする連携強化に努めます。
- 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業並びに高齢者活躍人材確保育成事業の推進に、県シ連と連携して取り組みます。
- 県シ連の計画と連動して策定した中期事業計画に沿った事業展開を図ってまいります。

○ 目指す数値

項目	目標数値	備考
会員数	1,138人	令和2.3.1現在 970人
受注件数	5,080件	平成30年度 4,745件(含む派遣)
契約金額	4億1,910万円	平成30年度 3億8,677万円(含む派遣)
就業率	80.7%	平成30年度 79.9%

注：会員数、契約金額、就業率は、中期事業計画(平成30年4月策定)に掲げた目標値